

# 2015年9月27日 主日礼拝

司 会 ①村上洋兄 ②波木井兄 ③高木美兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②新田兄

使徒信条

賛 美 聖歌462番「わが生涯はあらたまりぬ」  
(花咲く野原のように)(主イエスをほめよ)

聖 書 ①ピレモンへの手紙1章8～18節 (P341)  
②マルコによる福音書14章3～9節 (P75)  
③ガラテヤ人への手紙6章1～10節 (P299)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)  
②③青年会 Choir

証 詞 ①②石塚美文姉(学生会)

メッセージ ①「変えられた人生」 久保田豊伝道師  
②「もったいないことです」 坪井永城副牧師  
③「人はまいたものを刈り取る」 大川従道牧師

賛 美 「けがれとはじとの」 (430番・献金)

頌 栄 「それ神は」(700番) アーメン

祝 禱

③こおどりチーム

「まちがってはいけない、神は侮られるようなかたではない。  
人は自分のまいたものを、刈り取ることになる。」

(ガラテヤ六の七)

## 【大和ニュース】

◎「セレブレーション・オブ・ラブ with F・グラハム」は、日本武道館にて、11月20日(金)21日(土)22日(日)。4回大会。大川牧師は大会の副委員長。努力してご出席ください。チケット申し込み継続中。BOXへ。大型バスは、日曜午後の本大会出席のため。予約申込み中。お早目に。1人2000～2500円の予定で交渉中。

- ・「洗礼準備会」。アブラハム会、ヨシユア/ルツ会(森ラウンジ)、モーセ会、J.Plus、役員会。
- \*「東京カルバリーチャペル」は5時。ハイアットホテル。「白鳳」。祈禱会は4時、「弥生」。

- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は菅原副牧師。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時。説教は大野M主事。祈り込みの時間。
- \*「断食祈禱日」は、金曜9時～15時。泉チャペル。30分出席でも可能です。
- ・ 土曜スクールは、子どもの特別集会。150回記念。土曜9時半。森チャペル。

## 石の枕

日頃思っていることを書いてみたい。引用した2つの新聞の切りぬきは、机の上に置いて、何度も何度も読み続けて来たものである。

大正時代のこと、星新一さんの父親は、野口英世博士の紹介で、発明王エジソンに会っている。その際、写真と共に言葉をもらった。「成功しない人があるとすれば、それは努力と思考をおこたるからである」

もうひとつは、出版業界の鬼将軍「見城徹氏」のことばである。

「30代後半、音楽家の坂本龍一と僕はそれぞれの戦場で多忙な日々を過ごしながらも、毎日一緒に朝まで飲み明かしていた。互いの感性をぶつけ合い、唯一無二の関係を築きました。仕事というのは『圧倒的努力』をした者同士の濃密な交錯です。依存し合うのではなく、互いに欠くことのできない存在として血を流し、命を張る。その『癒着』が大きな結果を生みます。」

「でも、一番伝えたいのはやはり『正面突破』なんです。本気で成功したいなら逃げたらダメなんです、逃げたら。無理だ、無謀だとみんなが言うことに立ち向かう、血のにじむような圧倒的努力で。僕はこれからもうやって決然と生きていく覚悟です。」

彼の著書に『編集者という病い』とか、『異端者の快樂』とか、ミリオンセラーがあるが、もっと激しい闘いも書いてある。

これ以上は引用しないが、伝道に命を懸ける者として教えられることは大であった。しかし、私たちの戦いは、血肉とのそれではなく、「無数の悪霊ども」とのそれであることを自覚したい。それはもっともっと血を流すことが求められている世界である。救霊に召されたということはそういうこと。イエス様にお従いすることは、そういうことである。

「キリストの血をもってあがない取られた神の教会」(使徒行伝20章28節)にお仕えするということは、人間にとって最高の栄誉である。

間違っただけではない。私たちは、上述の方々から学びはするが、目的が違う。この世の成功ではなくて、神の栄光を得るための戦いである。成功ではなくて栄光!!だからこそ、もっと努力し、もっともっと聖霊を求めて祈り込む。大和カルバリーも、東京カルバリーも、他の支教会も最終目標は「神の栄光!」である。サタンも必死、こちらはもっと必死!

主の約束は、「勝ち得て、余りあり」である。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ガラテヤ5章~エペソ5章 Bコース:イザヤ10章~28章